



31福保保国第402号  
令和元年7月10日

一般社団法人東京都病院薬剤師会会長  
林 昌 洋 様

東京都福祉保健局長  
内藤 淳



東京都後発医薬品インターネット実態調査について（依頼）

時下益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東京都では、本年度より、都民が安心して後発医薬品を使用できる環境を整備するため、東京都後発医薬品安心使用促進協議会を設置しております。

本協議会において、関係者ごとの取組課題に対応した個々の対策を検討するために、都内の関係機関等を対象としたインターネット実態調査を行い、東京都の実態と課題を明確化することを予定しております。

つきましては、下記調査につきまして、関係機関へご周知のほど何卒よろしく願いいたします。

記

1 調査対象

病院全施設

※別途、薬局、患者、保険者についても調査を行います。

2 調査期間

令和元年8月下旬から9月中旬まで（予定）

3 調査依頼

東京都福祉保健局から、調査期間の1～2週間前に、東京都にご登録いただいているメールアドレス宛に直接依頼します。

※病院については、管理部門のみならず、医師を対象とした調査も依頼します。

4 回答方法

インターネット

5 調査項目（案）

別紙のとおり

（問合せ先）

東京都福祉保健局保健政策部国民健康保険課

医療費適正化担当 古矢・鎌田

電話 03-5320-4164

F A X 03-5388-1409

# 後発医薬品に関する実態調査【病院(薬剤)】(案)

(調査票中、◎は都独自調査項目)

## 1 基本情報等

- (1) 病院の所在地  
(区市)
- (2) 種別  
(大学病院・国立病院・法人病院・個人病院)
- (3) 病床数、医師数、薬剤師数
- (4) 標榜している診療科
- (5) DPC対応状況
- (6) オーダリングシステム導入状況
- (7) 外来における院内・院外処方割合
- (8) 後発医薬品使用体制加算の状況
- (9) 院外処方箋の交付状況  
(院内・外処方割合・処方箋料の算定回数  
・一般名処方の算定回数)

## 2 後発医薬品使用についての方針

- (1) 入院患者  
(積極的・種類 [薬・疾患] により積極的・医師の判断  
・積極的でない)
- (2) 外来患者に院内処方  
(積極的・種類 [薬・疾患] により積極的・医師の判断  
・積極的でない)
- (3) 外来患者に院外処方  
(積極的・種類 [薬・疾患] により積極的・医師の判断  
・積極的でない)
- (4) 積極的に使用しない理由
- (5) フォーマキュラリーの策定状況

## 3 後発医薬品に関する情報の入手等

- (1) 後発医薬品に関する情報の入手先  
(厚労省HP等・学会HP等・企業HP等・MR・MS)
- (2) 薬局における変更調剤の情報  
(情報入手の有無、情報入手の方法、入手のタイミング)
- (3) 薬局で処方された後発医薬品の情報  
(情報入手の有無、情報入手の方法、入手のタイミング)
- (4) 薬局から提供された情報の院内周知  
(処方医師へ提供・薬剤部で共有・薬剤部で保管)
- (5) 後発医薬品に関する情報のうち不足していると感じる事項

## 4 患者への対応

- ◎ (1) 後発医薬品に関する説明等  
(患者の意向確認の頻度、患者からの使用希望の申出等の有無)
- (2) 後発医薬品の使用を推奨する際に考慮する事項
- 5 後発医薬品に関する不信感・不安感の有無・内容
- ◎ 6 後発医薬品に切り替えた場合の好事例・不良症例等の内容
- 7 後発医薬品を選定・採用する際の基準
- 8 その他、後発医薬品に関する意見

# 後発医薬品に関する実態調査【病院医師用】(案)

(調査票中、◎は都独自調査項目)

別紙

## 1 基本情報等

- (1) 病院の所在地  
(区市)
- (2) 種別  
(大学病院・国立病院・法人病院・個人病院)
- (3) 診療科目、担当診療科
- (4) DPC対応状況
- (5) オーダリングシステム導入状況

## 2 後発医薬品使用についての方針

- (1) 入院患者  
(積極的・種類 [薬・疾患] により積極的・医師の判断  
・積極的でない)
- (2) 外来患者に院内処方  
(積極的・種類 [薬・疾患] により積極的・医師の判断  
・積極的でない)
- (3) 外来患者に院外処方  
(積極的・種類 [薬・疾患] により積極的・医師の判断  
・積極的でない)
- (4) 積極的でない理由
- (5) フォーマルularyの策定状況

## 3 後発医薬品に関する情報の入手等

- (1) 後発医薬品に関する情報の入手先  
(厚労省HP等・学会HP等・企業HP等・MR・MS)
- (2) 薬局における変更調剤の情報  
(情報入手の有無、情報入手の方法、入手のタイミング)
- (3) 薬局で処方された後発医薬品の情報  
(情報入手の有無、情報入手の方法、入手のタイミング)
- (4) 後発医薬品に関する情報のうち不足していると感じる事項

## 4 患者への対応

- ◎(1) 後発医薬品に関する説明等  
(患者の意向確認の頻度、患者からの使用希望の申出等の有無)
- (2) 後発医薬品の使用を推奨する際に考慮する事項
- 5 後発医薬品に関する不信任感・不安感  
(積極的に採用しない理由)
- ◎6 後発医薬品に切り替えた場合の好事例・不良症例等の内容
- 7 後発医薬品を選定・採用する際の基準
- 8 その他、後発医薬品に関する意見